

平成23年行政事業レビューシート

( 警察庁 )

<b>事業名</b>	電車内における痴漢防止対策の推進		<b>担当部局庁</b>	生活安全局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成22年度(単年度事業)		<b>担当課室</b>	生活安全企画課		生活安全企画課長 宮城 直樹		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	1 市民生活の安全と平穩の確保				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	電車内の痴漢事犯は、しゅう恥心等から被害申告をしない者もいると予想されることから、犯罪統計だけでは測ることができない被害実態があると考えられる。また、通勤・通学に利用する電車の中で痴漢被害に遭った女性の中には、満員電車に乗ることができなくなったといった後遺症が残る場合もあり、こうした卑劣な犯罪を撲滅するため、電車内における痴漢事犯に特化した実態把握、対処方法の研究等を行い、電車内における痴漢を防止するための環境整備に向けた働きかけ等を促進する。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	痴漢事犯については、国民の一般的な意識調査が行われていなかったことから、犯罪統計からは得られない国民の意識や環境における問題点について明らかではなかった。これらを明らかにするため、痴漢の被害実態、痴漢を目撃した際の対応実態、被害に遭わないための工夫・実践例、痴漢を発生させないためのアイデア等について、インターネットアンケートやグループインタビュー等を用いて国民の意識調査を実施するとともに、電車内における防犯カメラの効果を検証するための実験を実施し、鉄道事業者、部外有識者、関係省庁等から構成する研究会において検討を行う。							
<b>実施方法</b>	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	-	-	5	-	-	
		補正予算	-	-	0	-	-	
		繰越し等	-	-	0	-	-	
	計	-	-	5	-	-		
	執行額	-	-	3	-			
	執行率(%)	-	-	60%	-			
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 電車内における痴漢防止対策に関する報告書の取りまとめ	件		-	-	1	-	
	(成果指標) 報告書数	達成度	%	-	-	100%	-	
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	電車内における痴漢防止に係る研究会の開催回数	回		-	-	3 ( 3 )	- ( - )	
<b>単位当たりコスト</b>	2,538千円 / 事業		算出根拠	総事業費				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		1 支出先・使途の把握水準・状況 警察庁が直接契約していることから支出先を把握している。 2 見直しの余地 目的に沿った執行が行われており、その成果物も作成され今後の各種施策に活用されるものと認められる。 一般競争入札により競争性の高い調達を実施している。今後とも、調査研究等を実施する場合には、競争性の確保に努める。	
予算監視・効率化チームの所見			
		1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。 2 改善策の内容及び横断的な見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。 3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
特になし(事業の終了)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

警察庁  
3百万円

〔 調査研究を委託等 〕

< 謝金 >

A.外部有識者等(45人)  
0.4百万円

〔 外部有識者等に  
対する謝金を支出 〕

< 人件費等 >  
【一般競争入札】

B.民間会社(2者)  
2.1百万円

〔 受託した調査研究  
事業を実施 〕

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する)(単位:  
百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.外部有識者等			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
謝金	委員謝金	1			
計		1	計		0
B.ニッセイエプロ(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費等	電車内における痴漢事犯に対する意識調査	1			
計		1	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ニッセイエプロ(株)	電車内における痴漢事犯に対する意識調査	1	5	
2	日立フィールドアンドファシリティサービス(株)	電車内における痴漢被害を発生させない環境づくりに関する調査	1	3	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

# 電車内における痴漢防止対策の促進に向けた取組みの推進

## (現状及び問題点)

- ・刑法犯認知件数が減少しているにもかかわらず、電車内における強制わいせつ認知件数、迷惑防止条例違反検挙件数は高水準で推移している。
- ・電車内の痴漢事犯において被害者供述の信用性を否定した無罪判決が出された事例もあり、このままでは被害申告をしても犯罪とならない、痴漢を目撃しても見て見ぬふりをするといった社会的気運を生み出しかねない。

## 基礎調査

### 国民の痴漢事犯に対する意識調査 (インターネットアンケート)

- ・痴漢の被害実態
- ・痴漢被害に遭わないための工夫・実践例
- ・痴漢を目撃した際の対応実態
- ・痴漢に間違われたいための工夫・実践例
- ・痴漢を発生させないためのアイデア

### 検挙被疑者の意識調査

- ・発生状況(時間帯等)の調査、分析
- ・被疑者に係る(動機、手口等)の調査、分析
- ・被害者に係る情報(車両内での位置、行動等)の調査、分析

### 電車内における防犯カメラ設置実験

- ・実際の車両を借り上げた上で、痴漢事犯発生時の電車の状況を踏まえ様々な性能の防犯カメラを設置して撮影し、発生抑止や犯罪捜査に効果的な防犯カメラを検証する。
- ・電車内の環境整備に係る費用対効果等を検証

## 「電車内における痴漢防止に係る研究会」による検討

～ 鉄道事業者、学者、国土交通省、警察庁等からなる研究会を設置～

- ・痴漢防止のノウハウ
- ・痴漢被害を発生させない環境づくり
- ・電車内の痴漢撲滅に向けた関係機関の在り方

## 「電車内における痴漢撲滅に向けた関係機関の在り方に関する報告書」の作成・公表

## 効果

- ・鉄道事業者等による痴漢防止環境づくりへの自主的な取組みの促進
- ・目撃者等の痴漢事犯捜査への協力
- ・学校、企業等による自主的な痴漢被害防止に係る取組みの促進
- ・調査研究による「痴漢を許さない」という社会気運の醸成